

# 市議会だより

**和のいいね!**  
いまの時代、自分からアピールしなまっ!  
福井市



**3月**  
**定例会**  
(2月17日～3月19日)

表紙写真：ふくい桜まつり  
審議事項：議案43件、報告4件、市会案3件、請願4件、陳情1件  
委員会審査、一般質問、予算特別委員会

編集／発行  
福井市議会だより編集委員会  
福井市大手3丁目10番1号  
令和7年5月25日

予算特別委員会の委員を選任しました

委 員 名				◎委員長	○副委員長
◎見谷 喜代三	○下畑 健二	堀川 秀樹	今村 辰和		
鈴木 正樹	堀江 廣海	伊藤 洋一	藤田 諭		
田中 義乃	玉村 正人	八田 一以	岩佐 武彦		
葛野 早智代	高田 稔浩	佐野 弘			

〈調査項目〉各会計当初予算、補正予算の審査及び市政上の重要案件

令和7年度 会計別予算総括表

(単位:千円)

会計区分	予算額
一般会計	140,130,000
国民健康保険	20,208,000
後期高齢者医療	4,920,000
介護保険	28,230,000
母子父子寡婦福祉資金貸付	25,000
特別会計	25,170,000
競 輪	25,170,000
企業会計	900,000
産業団地整備	900,000
宅 地 造 成	175,000
中央卸売市場	885,000
駐 車 場	94,000
水道事業	9,170,000
簡易水道事業	789,000
下水道事業	24,010,000
集落排水事業	1,367,000
合 計	256,073,000

主な議案

3月定例会

令和7年度当初予算

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10月11ページに掲載しています。

令和7年度当初予算は、市長ビジョンに掲げる取組を加速させ、スピード感を持って、着実に実行し、福井に関わるすべての人に「楽しい！安心！元気！」を「もっと」実感していただくための重要な予算です。そのため、北陸新幹線福井開業の効果を最大化し、これまで磨き上げてきた本市の魅力を分かりやすく丁寧に発信するとともに、今年4月から開催さ

れる大阪・関西万博などの機会も活かして、より多くの人を本市に呼び込みながら、にぎわいの創出や子育て・教育環境の充実、産業の振興、防災・減災対策の強化、デジタル化・脱炭素化などの取組に重点を置き、第八次福井市総合計画の将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」の実現を目指します。

そうした想いを込めて、「誰もが実感「もっと」楽しい！安心・元気」予算「新幹線が運ぶにぎわい効果最大化」として編成した予算です。(各会計予算は左上の表を参照)

Ⅰ 予算のポイントとなる事業

- ・「ふくいは、もっと、楽しい！」
- ・市街地再開発事業等支援事業
- ・県都にぎわい創生推進事業
- ・ふくいプロモーション事業

Ⅱ ふくいは、もっと「安心！」

- ・避難所空調設備整備事業
- ・不妊治療支援事業
- ・こどもの居場所づくり支援事業

- ・「ふくいは、もっと「元気！」
- ・農林水産物特産品販路拡大事業
- ・未来を拓く奨学金返還支援事業

- ・福井駅発！「ぐるぐる周遊バス」運行事業

令和6年度補正予算

3月補正予算は、エネルギー価格・物価高騰への対応に関する事業をはじめ、国・県の補助金等を活用して行う事業のほか、各事業の精算に伴うものについて計上するものです。

今回の補正予算の規模は、一般会計で40億6,776万5千円、特別会計で2億2,034万7千円を追加するもので、補正後の予算総額は、一般会計で1,389億6,090万5千円、特別会計で785億6,557万円、全会計で2,484億3,739万9千円となります。

※予算の概要については、市財政課のホームページをご覧ください。



条例

○福井市こども未来条例の制定について

社会全体でこどもの成長を応援し、こどもの未来が輝くまちの実現を目指すため、条例を制定するものです。

○福井市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について

いじめ防止対策推進法に基づき、福井市いじめ問題対策連絡協議会、福井市いじめ調査専門委員会及び福井市いじめ検証委員会について定めるため、条例を制定するものです。

○福井市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例等の一部改正について

情報通信技術を活用した手続の効率化により市民等の利便性の向上を図るため、所要の規定の整備を行うものです。



人事案件

○選挙管理委員及び補充員

令和7年3月25日をもって任期満了となる選挙管理委員及び補充員に次の各氏が当選されました。(敬称略)

【委員】

藤井 健夫 小林 範雄  
出見 隆文 岩永 佳代子

【補充員】

江端 美喜子 佐野 俊和  
川上 賢正 朝倉 由希

○人権擁護委員

本年6月30日をもって任期満了となる委員4名のうち、田村洋子氏、坂元秀基氏、麻生英右氏を引き続いて、橋本久代氏を新たに、同委員候補者として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

市会案(議員提出議案)

○市長の専決処分事項の指定の追加について

本市が有する未収債権の徴収事務の迅速化を図るため、地方自治法第180条第1項の規定により、市長において専決処分することができる事項を追加するものです。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。  
(委員会終了順に掲載)

県都にぎわい創出対策特別委員会



《バスの運転手確保について》

**問** 路線バス事業は、京福バスと福鉄バスが行っているが、ほかの事業者が路線バス事業に参入することはできないのか。

**答** 国への手続が必要となるが、ほかの事業者が路線バス事業に参入することは可能であり、事業転換や新たに参入するために必要な設備投資等に対する県の支援もある。

**問** ほかの事業者にも参入してもらおうことを検討すべきであると考えがいかか。

**答** 事業者からは、路線バス事業は運行管理が複雑であるとともに、採算がとれないとの理由で、簡単に事業参入できない状況であると聞いているが、今後もほかの事業者の参入について継続して働きかけていきたい。

建設委員会



《令和7年度福井市駐車場の特別会計予算について》

**問** 本町通り地下駐車場の利用を中止することだが、これは本施設を閉鎖するということなのか。

**答** 本町通り地下駐車場については、老朽化に伴う設備の故障が多発していることから、利用者の生命・財産に危害が及ばないよう、暫定的に運用を中止するものであり、施設自体の閉鎖を決定したわけではない。次年度以降、どのように活用できるか考えていきたい。

**要望** 道路との関係もあると思うが、本施設は多額の税金を投入してきた施設であり、利用を中止したままにしておくことはいかかなものかと考えることから、有効に活用する方法を検討してほしい。

総務委員会



《福井市犯罪被害者等支援条例の制定について》

**問** 犯罪被害に遭われた方やその遺族に見舞金を支給することだが、金額はどの程度を想定しているのか。

**答** 見舞金の支給については別途、規則で定めることになるが、他市の事例では、遺族見舞金が30万円、重傷病見舞金が10万円となっており、先進事例を参考にしながら今後決定していきたい。

経済企業委員会



《畜産費について》

**問** 飼料代の高騰により、畜産業では経営を維持していくことが苦しい状況にあると聞いている。過去には飼料代の補助を行っていたと記憶しているが、現在も行っているのか。

**答** 昨年度、飼料代が高騰した際に、飼料の購入に対する補助を行った。飼料は海

外から輸入されるものが多いことから、その後、価格は高止まりしたものの、今年に入ってから若干下がっている状況にある。今後も引き続き価格の推移を注視し、その状況に応じ、必要な措置を行っていきたい。

教育民生委員会



《福井市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について》

**問** いじめ問題対策連絡協議会では、どのような内容の協議を行うのか。例えば、各学校から報告があったいじめの事案に対する協議を行っているのか。

**答** 学校から報告のあったいじめの事案について協議することもあるが、平時において、いじめが起こった場合の対応や、学校におけるいじめ防止対策等を協議している。



# 一般質問

当面する諸問題について市の考え方を問うため、2月25日から27日までの3日間、21人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、( )内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

<p><b>① 神原 光賀 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和7年度当初予算案について</li> <li>本市の教育行政について</li> <li>学校生活環境の整備と施設の安全対策について</li> <li>中学校部活動の地域クラブ移行について</li> </ol>	<p><b>⑧ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>外国人観光客の入り込み状況全国ワースト2位からの脱却について</li> <li>農林水産物特産品の販路開拓・拡大を図る事について</li> <li>空家等対策の推進に関する特別措置法について</li> <li>まちなかFes. 支援事業について</li> </ol>	<p><b>⑭ 寺島 恭也 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>にぎわいについて</li> </ol>
<p><b>② 皆川 信正 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>道路陥没調査と上下水道の維持管理について</li> <li>福井市社会福祉協議会と福井市ふれあい公社の統合について</li> <li>福井市手話言語条例の現状と課題について</li> <li>災害対策について</li> <li>北陸自動車道と国道8号の同時通行止めについて</li> <li>本町通り地下駐車場について</li> <li>フェニックス通り拡幅事業について</li> </ol>	<p><b>⑨ 宮岡 勝也 (ふくい未来の会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>予防接種勧奨ではなく健康づくりへの啓発について</li> <li>ふるさと納税による福井市の財政力向上と地域振興について</li> <li>小・中学生のタブレット導入による学力と健康について</li> <li>福井市のガバメントクラウドについて</li> <li>新しく設置する設備棟の太陽光パネルと地球温暖化対策について</li> <li>清水地区に対する市の支援と提案について</li> </ol>	<p><b>⑮ 菅生 敬一 (公明党)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>外国人への支援について</li> <li>带状疱疹ワクチンの定期予防接種について</li> <li>防犯灯設置等補助事業について</li> <li>地域コミュニティDX推進事業について</li> </ol>
<p><b>③ 奥島 光晴 (新政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和7年度当初予算案について</li> <li>陥没(道路・西墓地)の安全性について</li> <li>「ふるさとの日」「建国記念の日」の一考察について</li> </ol>	<p><b>⑩ 鈴木 正樹 (日本共産党)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市幹部の書類送検への対応について</li> <li>能登半島地震から1年、政治の責任について</li> <li>教員の働き方改革について</li> <li>市民生活から見た政策財源論について</li> </ol>	<p><b>⑯ 岩佐 武彦 (ふくい未来の会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>学校給食の質の向上について</li> <li>選挙経費と投票率向上策について</li> <li>アオッサの位置づけと今後の活用策について</li> <li>本市が舞台となる作品のプロモーション活動について</li> </ol>
<p><b>④ 酒井 良樹 (市民クラブ)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地域集会所の安全対策について</li> <li>こどもの遊び場について</li> <li>上下水道事業について</li> </ol>	<p><b>⑪ 八田 一以(一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺の開発について</li> </ol>	<p><b>⑰ 青木 幹雄 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市内49地区の人口</li> <li>市内49地区の課題</li> <li>こどもまんなか社会と学校</li> <li>防災・減災対策</li> </ol>
<p><b>⑤ 下畑 健二 (公明党)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地方創生について</li> <li>上下水道管の老朽化による道路陥没対策について</li> <li>避難所空調設備整備事業について</li> </ol>	<p><b>⑫ 近藤 實 (無所属)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>アリーナ整備運営について</li> <li>水道ビジョン2020中間見直しの財政計画は極めて疑問だ!</li> <li>令和7年度一般会計予算案について</li> <li>新型コロナウイルスワクチンは安全か???</li> <li>福井市子ども未来条例への提言</li> </ol>	<p><b>⑱ 佐野 弘 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>中学校部活動の地域展開について</li> <li>子どもたちの学びを支える教員の確保について</li> <li>企業支援と本市の発展に向けて</li> </ol>
<p><b>⑥ 見谷 喜代三 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「米どころ福井市」における市独自の支援について</li> </ol>	<p><b>⑬ 高田 稔浩 (市民クラブ)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>障がい福祉サービス「居住系サービス」増加への対応について</li> <li>各種アンケート調査の結果のホームページによる公表について</li> <li>北陸新幹線福井延伸から1年が経つ中で、移動等円滑化の取組について</li> </ol>	<p><b>⑲ 浦上 逸人 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>高齢者にやさしい生活環境について</li> <li>組織体制と働き方改革について</li> <li>情報公開について</li> </ol>
<p><b>⑦ 野嶋 祐記 (新政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>まちなかの賑わいについて</li> <li>定住人口の確保や、移住の促進について</li> </ol>		<p><b>⑳ 山田 文葉 (日本共産党)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>社会福祉法人の不正問題について</li> <li>大阪・関西万博への子どもの参加について</li> <li>住民の足を守る公共交通の充実について</li> <li>大学の学費値上げについて</li> </ol>

**回答**

令和7年度当初予算案は、市収入等の歳入の伸びを見込む一方で、それを上回る事業費の増大により、非常に厳しい財政状況となった。令和8年度以降も大型公共事業の進捗に伴い、市債残高が増し、公債費の増加が見込まれることから、厳しい財政状況が続くことが予想される。今後の財政運営については、市債の新規借入は交付税措置がある有利な起債を優先的に活用し、後年度の負担を軽減するほか、事業費の優先順位を見極め、徹底して優先順位の高い事業に重点を置くこと、また、収入の重点化を図ることで、収支均衡の重点化を図ることを目指していく。

**質問**

今回の予算案においても、財政調整基金からの繰入れは、収支均衡を維持した上で、全般的な財政運営は堅持された。収支均衡は堅持された上で、運営の堅持を取組むこと、財源の確保については市長と、今後の財政状況の見直しと、財政運営について問う。

**令和7年度当初予算案について**



さかきばら みつよし  
**神原 光賀** 議員  
一真会

**一般質問要旨**



**災害対策のうち、避難所に不可欠なプライベートルーム設置について**

**質問**

能登地震に関する報道では震災関連死が取り上げられ、他人の目を気にし過ぎ我慢の連続で、もう少しプライベートが守られていれば命が守られただろうと報じられた。病气や介護、幼児や妊婦など必要な方のために簡易テントの設置が望まれる。早期購入し、ストックすることを求める。

**回答**

プライベートルームは、避難所での心理的安心やプライバシーの確保、感染症の予防などに大変効果的であると認識しており、本市では令和4年度に、最初に開設する避難所に配備した。しかしながら、能登半島地震を受け、国が、避難所における良好な生活環境の確保に向け、パーティション等も迅速に設置するよう自治体へ通知したことから、本市としても、避難所ごとにプライベートルーム及びパーティション等の必要数が確保されているかを検証し、増数について検討していく。



**足羽山西墓地公園の陥没に対する安全性について**

**質問**

平成17年8月16日の早朝、足羽山西墓地公園内で直径深さともに30m以上の大陥没事故が発生したが、幸いにも人的被害はなかった。市もいろいろと安全対策を講じたが、平成25年にも小陥没が発生した。現在の安全性をどのように認識しているのか。

**回答**

平成17年に発生した大規模な陥没事故の後、陥没口から土砂を投入し埋め戻すなど、必要な対策工事を行った。また、平成25年に小陥没が起きた際は、埋め戻し工事の後、排水路の整備と遮水シートの張り付け工事を行った。その後は職員が定期的にパトロールし、異常発生時には迅速に対応できる体制をとっているが、現在までに著しい変動は確認されていない。西墓地の地下には笏谷石採掘跡の坑道があるため、沈下の懸念を完全に払拭できないが、今後も現地の監視を続け、安全に墓地を利用できるように努めていく。



**地域集会所の安全対策について**

**質問**

昭和56年5月31日以前に旧耐震基準で建てられた自治会独自の公民館や集会所に対し耐震診断に対する支援を実施するべきではないか。また、耐震対策に特化した補助事業を創設してはどうか。

**回答**

自治会集会所は、地域住民が集まるコミュニティの拠点として各種会合やレクリエーション活動に利用されているほか、地域における高齢者の健康づくりの場、また、災害発生時に市指定避難所への避難が困難な場合の自治会避難場所としての役割を果たしている施設もあることから、耐震性を確保することは重要である。また、全国的に地震が頻発する中、防災に対する市民の関心が非常に高まっているため、自治会集会所の現状や耐震化へのニーズ等を改めて調査し、その結果を踏まえ、耐震診断や耐震補強プランの作成、改修事業など耐震化に対する市の支援の在り方を検討していく。



**若者に選ばれる福井市づくりにについて**

**質問**

令和5年度市民意識調査によれば、市内に住む若者の約4割が、将来は福井市に住みたいかないとの回答になっている。官民連携して福井市の魅力を高めたいし、市長には企業や若者等と意見交換する取組をお願いしたいが、所見を伺う。

**回答**

市民ニーズなどが多様化する中、新たなニーズに適切に対応し、より良い市民サービスを提供することが本市の魅力を高めることにつながると考えている。このため、行政だけでなく、地域の多様な主体と協力、連携し、若者に選ばれる魅力的な地域を目指し、企業の誘致や学生の起業支援など、様々な新しい取組に果敢に挑戦していく。また、私は市長就任以来、多くの方々と意見交換させていただいた。今後も市民や企業の皆様の生の声を直接伺い、その熱い思いなどの把握に努め、現場の課題も捉えながら、効果的な施策の反映に努める。



**「米どころ福井市」における市独自の支援について**

**質問**

学校給食、こども食堂、貧困家庭に対し、米価の変動時に米を安定して供給できるようにするため、何か取り組む計画はあるのか市長の考えは。

**回答**

昨今の物価高騰を踏まえ、国の交付金等を活用した財政的支援や県と連携した支援などを行ってきた。学校給食については、食料費の上昇分を市が負担しており、今後も継続する。こども食堂については、国による米の無償交付の制度の周知や本市のふるさと納税にこども食堂への寄附メニューを設けるなど、今後も事業者支援に努めていく。貧困家庭については、生活相談に合わせ、米や缶詰などを提供している。私としては、社会的弱者が孤立しないよう、ひとりぼっちにしないさせない取組が重要と考えており、支援を必要とする方々に物資が行き届き、「ふくいは安心」と実感していただけるよう、継続して取り組んでいく。



のじま ゆうき  
**野嶋 祐記** 議員  
新政会

**再開発事業による商店街と自治会への影響について**

**質問**

再開発事業の影響で、昨年、駅前商店街も組合員が半減して以前の形態では存続が困難になり、周辺では今後再開発事業が進行することにより、既存のコミュニティを壊すこととなる。自治会組織についても同様である。再開発事業が招いたこの状況に対する本市の考え及び対応は。

**回答**

再開発事業は、事業区域が大きく、長期間にわたることから、周辺の商店街や自治会にも影響が及ぶものと考えている。そのため、本市では、再開発組合に対し、商店街への加入を十分に協議するよう指導し、自治会についてもマンション内での自治会の設立や、周辺自治会への加入に協力していただくようお願いしている。再開発事業において、周辺の商店街や自治会が相互に信頼関係を築き、エリア全体の魅力向上等につながるものが重要であり、今後とも全国の事例なども参考にしながら、継続して指導していく。



ほりかわ ひでき  
**堀川 秀樹** 議員  
市民クラブ

**空き家等対策の推進に関する特別措置法について**

**質問**

国は、人員不足等により空き家対策への対応が困難な自治体に向けて「空き家等管理活用支援法人」を指定できるものとし、民間事業者による様々な対応が可能となった。しかし、本市にはこの仕組みがなく問題が残るため、早急に支援法人を指定し、改善を求める。

**回答**

空き家等管理活用支援法人として指定されるためには、不動産だけでなく、法務等の専門家が協働体制を構築して業務を実施でき、空き家等の管理もしくは活用を図る活動を行うことができる法人または、会社であることが必要である。そのため、本市では令和6年度より、法務の専門家等から構成される福井市空き家等対策協議会と、福井市空き家等利活用検討会議において、空き家等管理活用支援法人に求める役割等を議論しており、令和7年度中に支援法人の指定等に関する要綱を定め、募集を開始していく。



みやおか かつや  
**宮岡 勝也** 議員  
ふくい未来の会

**ふるさと納税による福井市の財政力向上と地域振興について**

**質問**

福井市におけるふるさと納税の推進は、市の財源確保のみならず、地域産業の活性化や市の魅力発信に寄与する重要な施策である。ふるさと納税の寄附額及び件数について、今年度はどのくらいの見込みか。また、今後のふるさと納税の戦略は。

**回答**

ふるさと納税について、今年度は1月末時点で既に7億円を超える寄附を頂いており、3月末までに件数は38,000件、寄附額は7億5,000万円を見込んでいます。また、今後の戦略については、引き続き魅力ある返礼品の掘り起こしに力を入れていく。また、来年度は福井の魅力が詰まったパンフレットを新たに作成し、これまで寄附を頂いた方々に送付する。パンフレットには、生産者の顔や思いが伝わる紹介に加え、観光情報などを盛り込むことで、継続的な寄附を促すとともに、福井ファンの獲得に努めていく。



すずき しよつじゆ  
**鈴木 正樹** 議員  
日本共産党

**幹部の書類送検について徹底した調査を**

**質問**

市役所のトップ幹部が相次いで書類送検され、市民に様々な疑念を抱かせている。その信頼回復には、徹底した調査と公表が必要。外部有識者等による調査は、いつからか。その調査の期間は。そして、調査の対象は副市長だけでなく市の幹部全体とすべきでは。

**回答**

令和6年12月定例会でお答えしたとおり、検察の判断が示された後に、外部の有識者等を含めた組織で調査を行うことを考えている。調査期間については、調査対象や調査内容によるものであり、外部有識者等の意見を踏まえる必要があると考えている。今後行う調査により、市幹部の責任が問われるようなことがある場合には、処分及び再発防止策を検討し、市民や議会に対し説明することが必要であると考えている。



はった いちい  
**八田 一以** 議員  
一真会

**福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺の開発について**

**質問**

福井県嶺北地域基本計画で、重点的に地域経済牽引事業の促進を図るべき第一番目の区域に指定されたにも関わらず、8年経過後の現在も、福井北ジャンクション・インターチェンジの周辺に、のどかな田園風景が広がっていることをどう考えているのか。

**回答**

福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺は、今後、民間企業による開発圧力が高まっていくエリアであり、民間主導の開発を期待しているところである。そのためにも、県がこのエリアを重点的に地域経済牽引事業の促進を図るべき区域として設定しているところであり、企業情報の取得に努め、進出意向が示された場合には、関係所属が同法を活用した土地利用にしっかりと取り組む。このエリアへの企業の立地が進み、田園風景と調和した産業拠点となるよう、様々な機会を通じて、企業誘致に取り組んでいく。



こんどう みのる  
**近藤 實** 議員  
無所属

**新型コロナウイルスワクチンは安全か???**

**質問**

昨年10月に東京の友人から連絡があり、「同級生が昨年1月に突然死しましたが、お嫁さん曰くコロナワクチンが原因だと思う。ワクチンを打った翌々日に亡くなった」とのこと。

予防接種健康被害救済制度によって認定された死亡者数は、1月末現在全国で何人か。

**回答**

全国の死亡事例での救済認定件数については、令和7年1月末時点で、951件となっている。



ただ としひろ  
**高田 稔浩** 議員  
市民クラブ

**障がい福祉サービス「居住系サービス」増加への対応について**

**質問**

本市のグループホームの利用延べ人数は、令和元年度3,138人から令和4年度4,169人と、3年間で1,000人以上急激に伸びている。グループホームを始めとする障がい者の居住系サービスについて、今後の整備の推進に対する本市の考えを伺う。

**回答**

グループホームは、障がいのある人が、入所施設や病院等から地域生活への移行先としてだけでなく、親亡き後、終の住まいとしても安心して生活し続けるためにも必要だと認識している。その需要は年々高まっているため、現在の福井市障がい福祉計画においても今後の利用者の増加を見込んでいる。

本市としては、今後も計画に基づき、支援を必要とする対象者数の推移を注視しつつ、国の補助金を活用しながら、事業所が行うグループホームの整備を支援することなどで、個々のニーズに合わせた住まいの確保に努めていく。



てらしま きょうや  
**寺島 恭也** 議員  
一真会

**にぎわいについて**

**質問**

北陸新幹線開業を期に、多くの観光客ならびに市民にも不便を感じさせない交通ネットワークを構築する絶好の機会となっている。

来年度予算に「未来へつなげるバス路線最適化実証事業」が計上されているが、その内容について伺う。

**回答**

市全域で運行している路線バス等の乗降調査や携帯電話のGPSデータを活用した人流調査等を行うほか、公共交通の利用実態やニーズを的確に把握するため市民アンケート調査等を行う予定であり、それらの調査結果を分析し、路線バス等からデマンド交通への転換や類似路線の集約化など、路線の効率化等を検討したいと考えている。

再編にあたっては、市内のどこからでも買い物や病院等に行ける、地域と地域をつなぐ便利な公共交通網が望ましい。既存の輸送資源を活かしながら、新技術の導入も見据え、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指したい。



すごう けいいち  
**菅生 敬一** 議員  
公明党

**带状疱疹ワクチンの定期予防接種について**

**質問**

今年4月から带状疱疹ワクチンが公費で補助する定期接種の対象となった。このワクチンの副反応については、どのような臨床結果が出ているのか。このワクチンは「生ワクチン」と「組換えワクチン」の2種類あるが、福井市の助成額はどれくらいを予定しているのか。

**回答**

国内臨床試験において、ワクチンを接種した部位の痛み、腫れ、皮膚が赤くなる発赤のほか、倦怠感やかゆみなどが副反応としてみられたものの、いずれも一過性であったと報告されている。

ワクチン接種の助成額については、带状疱疹と同じB類疾病である高齢者のインフルエンザや肺炎球菌と同様に、接種費用の半額程度を助成したいと考えており、自己負担額は、生ワクチンが4,000円、2回の接種が必要な組換えワクチンは1回当たり10,000円にしたいと考えている。



いわさ たけひこ  
**岩佐 武彦** 議員  
ふくい未来の会

**学校給食の質の向上について**

**質問**

学校給食は児童生徒の心身の健全な発展のため、重要な役割を果たしている。しかし、昨今の原材料費の高騰など給食を取り巻く環境は厳しさを増している。そのような中で、給食の質を向上させ、子どもたちが楽しむために、どのような工夫がされているのか。

**回答**

本市では、「特色ある献立計画」を目標の一つに掲げ、4月には入学お祝い給食、1月には餅を取り入れた給食など、季節の行事に合わせた給食を提供している。また、年3回の選択給食では児童生徒が選んだおかずやデザートを提供するほか、地元産食材を多く取り入れた給食や、昨年度には新幹線ウエルカム給食、今年度は入ロベニア給食など、福井の話題にちなんだ給食も工夫して提供している。

今後も新しい給食献立の開発などを行い、子どもたちに喜ばれる給食の質の向上に努めていく。

市内49地区の課題について



質問

市内49地区の課題の把握について、本市はどのような対応をしているのか。

回答

市内全地区に配置している99人の地域担当職員が地区の行事や会議に出席し、住民と協働する中で、地区からの要望等も含め、課題の把握や解決に努めている。

また、今年度からの取組である「西行市長がおじやます」において、市長自らが各地域を訪問し、市民の皆様の声を直接伺っている。

このほか、市民意識調査などの各種アンケート調査や、市自治会連合会の市長と語る会や市政懇談会等を通じて、課題の把握に努めている。

中学校部活動の地域展開について



質問

令和8年度からの中学校部活動の地域展開に向け、これまでモデル事業で見えてきた課題の認識と対応を伺う。また、改革実行期間としての行政と地域クラブの協議・連携体制の強化について所見を伺う。

回答

剣道や軟式野球、ハンドボール等のモデル事業に参加している生徒からは、「練習の質が高い」「部員数が減っていたが、クラブ化することで試合ができるようになった」など、高い評価の声を頂いている。一方で、運営する団体としては、継続していくための運営資金や活動場所の確保が難しいことが課題となっている。

本市としては、中学生を受け入れる団体が活動場所を確保できるよう、学校施設等を優先的に利用できる仕組みを設けるなどの対応をしていきたいと考えている。今後引き続き行政、学校、地域、スポーツ文化各団体等が連携してしっかりと議論、検討を進めていきたい。

情報公開について



質問

補助事業や予算は市民に分かりやすく伝える事が重要であると考えているが、ホームページへ掲載している補助事業の情報についての今後の方針は。また、予算の査定過程の情報はホームページで公開すべきではないか。

回答

市民がより利用しやすいホームページとするため、新年度に向けてホームページ掲載基準の作成を進めてきたが、その中で、既存事業に加え、新規事業も含めて、公募を行う補助事業等の要綱等掲載も予定している。さらに、利用者が検索しやすいよう、補助事業をまとめて一覧としたページも作成する予定である。予算の査定過程については、令和6年度から、編成作業に入る前に当初予算の編成方針をホームページで公開した。また、市長が予算案を解説する動画を福井市公式YouTubeなどで配信している。今後も、他市の取組状況等を調査研究し、市民への予算に関する周知に努めていく。

社会福祉法人の不正問題について



質問

市内の社会福祉法人で、民間会社の社債7,000万円を購入するなど不適切な運営をしているところがあると聞いているが、本市は監査時に問題を見つけられなかったのか。

回答

本市では、国の「社会福祉法人指導監査実施要綱」等に基づき、原則として3年に1回、国が示す指導監査調査のチェック項目により指導監査を実施し、問題があると認められた場合は、改善状況の報告を求め、取組を確認し、継続的な指導を行っている。今回の社債購入についても、指導監査を実施し、同法人への改善指導を行っており、当時の監査方法や市の姿勢に問題はなかったと考えている。

今後も、定期的な指導監査を行い、法人の運営等に問題があると認められる場合は、随時指導監査を行っていく。

障がい者芸術文化祭について



質問

障がい者芸術文化祭を通じて、どのような社会的意義を見いだし、どのような成果を期待しているのか。また、どのように事業運営を行うのか。具体的な施策があるのか。

回答

障がいのある人が創作した作品や歌などのパフォーマンスを発表する場を本市が創出することで、障がいのある人の創作意欲が高まることを期待するとともに、多くの市民にその個性や能力に触れる機会を提供し、本市の障がい者福祉の基本理念である「互いを認め合い、ともに生きる社会」実現のきっかけにしたい。また、会場は「障がいの有無にかかわらず参加交流できる場を提供する」というテーマに適した、多くの方が行き交うハピテラスで開催する予定であり、具体的な内容は、2月に開催した障がい者の芸術文化活動の推進に尽力されている専門家の講演会等の内容を踏まえて今後検討していくが、参加者同士の交流を主に眼に置いた内容としたい。

# 予算特別委員会

各会派における  
主な質疑内容を  
紹介します。

## 一真会

見谷喜代三 今村辰和  
堀江廣海 八田一以  
葛野早智代 佐野弘



3月13日



3月14日

○令和7年度当初予算案について

**問** 北陸新幹線福井開業や中部縦貫自動車道県内全線開通など、右肩上がりの時代の施策が中心になっているようだが、中長期的に持続可能で自立したまちづくりを進める視点が必要である。このまちづくりの持続可能性、自立性に対する所見と、新年度の予算編成に当たり、この2点に配慮した内容はあるのか。

## 答

本市は北陸新幹線福井開業や再開発事業の進展などにより、大きく発展していく好機を迎えている。一方で、人口減少や少子高齢化が進行し、福祉分野や地域交通での人手不足、農林水産業での担い手の問題など、地域社会を維持していくための課題に直面している。こうした中で、全ての市民が、住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくりと、商工業や農林水産業の生産性向上への後押しが、持続可能で自立したまちづくりにつながるものと考えている。こうした考えを踏まえ、新年度予算では、市長ビジョンに掲げた施策の中でも、特に「安心」「元気」の分野に係る施策に着実に取り組むことで、持続可能で自立したまちづくりを進めていきたい。

## 新政会

伊藤洋一 藤田諭  
田中義乃



3月13日



3月14日

○未来へつなげるバス路線最適化実証事業について

## 問

路線バスの廃止により、学生や運転ができない方など交通弱者への影響が懸念される中、来年度、交通の現況分析や課題整理の他、モデル地域においてデマンド交通等の新しい交通手段の導入実証実験を行うとのことだが、具体的にはどのような実証実験を行うのか。

## 答

本事業は誰もが利用したくなる地域公共交通網への再編のために行うものであり、来年度、市全域で運行している路線バスなどの乗降調査や、携帯電話のGPSデータを活用した人流調査などを分析し、路線バスなどからデマンド交通への転換や類似路

## 市民クラブ

堀川秀樹 玉村正人  
高田稔浩



3月13日



3月14日

○産後ケアの重要性と福井市の取組について

## 問

本市の産後ケア事業は、利用手続きが煩雑であることから、利用率の低下につながっている。事業の一部でチケット制の導入を考えているようだが、なぜ事業全体としてチケット制に統一しないのか。

## 答

本市の産後ケア事業の利用率は令和5年度で1%と低い状況にあり、サービスの利用申請にあたり、保健師

線の集約化などについての実証実験を行い、路線の効率化を検討する。また、その過程で、市民の利用実態やニーズを把握するためのアンケート調査等を行う予定である。

が利用者宅を訪問して面談を行う現在の方式では、保健師との面談や施設との日程調整に時間がかかることがその原因の一つであると認識している。そのため、来年度から、助産師が自宅を訪問し産後ケアサービスを提供する「訪問型サービス」に使えるチケットを導入し、ケアを必要とする全ての産婦が必要な時にケアを受けられるよう事業の拡充を図る。

一方、保健師の面談から産後ケアにつなげる現在の方式も、支援を必要とする家庭の早期把握に効果があることから、より迅速に利用できるように制度の改善を図りながら継続していく。

これらの改善により産後ケア事業の市民への浸透と利便性の向上を図ることで、全国利用率10・9%を上回る20%をこども未来計画における指標とし、利用促進に努めていく。



公明党

下畑 健二



3月13日



3月14日

○防災・減災対策について

**問** 本市の防災行政無線は導入から15年が経過し、更新時期を迎えていることから、今年度、学識経験者等による方式検討委員会を設置するなど、防災行政無線の更新に向けた検討を行っているとのことだが、方式検討委員会ではどのような検討を行ったのか。また、今後どのようなスケジュールで進めていくのか。

**答** 方式検討委員会においては今年度、現行の無線を含む様々な情報伝達手段について、サービスエリアや耐災害性、経済性などを比較し、本市にとって最適な手段を検討した。今後のスケジュールについては、来年度に、情報を受け取る側である市民のニーズを把握するため、市民

アンケートを実施したいと考えている。また、防災や気象に関わる有識者や、自治会連合会などの市民による検討委員会を設置し、能登半島地震の検証結果や市民のニーズ、デジタル技術の普及状況を踏まえながら、屋外スピーカーや戸別受信機といった既存の防災行政無線だけでなく、最適な情報伝達手段を検討し、令和8年度には整備方針を定める予定である。

ふくい未来の会

岩佐 武彦



3月13日



3月14日

○農業の諸問題について

**問** 農業は様々な産業の中で、も特に少子高齢化の影響を受けやすく、後継者不足や新規就農者の減少などにより、より一層深刻な人手不足となっているが、本市の農業における後継者不足の現状をどのように捉えているのか。

答

本市の農業従事者の平均年齢は70・8歳となっており、また後継者不足に伴い、本市の農家数が5年間で約3割減少していることや、認定農業者などの経営体数についても同じく5年間で約1割減少している現状を踏まえ、農業の担い手確保や育成は、本市農業の最重要課題であると認識し、この課題解決に向けて、様々な取組を実施している。

まず、就農初期の経営安定を図るため、経営負担の軽減となるよう資金や農機具、施設の購入に対する支援、インターン者への家賃助成、定住促進の奨励金などの支援を行っている。

日本共産党

鈴木 正樹



3月13日

○社会福祉法人への指導 監査結果の公表について

**問** 全国的に多くの自治体で社会福祉法人への指導監査の結果は法人名や施設名、具体的な指摘事項も含め、ホームページで公開されているが、福井市も公開すべきではないか。

**答** 本市の情報公開条例では、法人の情報を開示することで、法人の権利、競争上の地位そのほか正当な利害を害するおそれがある場合は、非開示情報としている。なお、本市では、市全体の指導監査の実施状況および結果の総評として、指導監査の重点事項や主な指摘事項の内容と件数を毎年度、市ホームページで公表している。

(3月定例会)		議案等の審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
議案番号	件名	審議結果		
第1号議案	令和7年度福井市一般会計予算	3月19日	原案可決	●
第2号議案	令和7年度福井市国民健康保険特別会計予算	//	//	●
第3号議案	令和7年度福井市後期高齢者医療特別会計予算	//	//	●
第4号議案	令和7年度福井市介護保険特別会計予算	//	//	●
第5号議案	令和7年度福井市母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計予算	//	//	●
第6号議案	令和7年度福井市競輪特別会計予算	//	//	●
第7号議案	令和7年度福井市産業団地整備特別会計予算	//	//	●
第8号議案	令和7年度福井市宅地造成特別会計予算	//	//	●
第9号議案	令和7年度福井市中央卸売市場特別会計予算	//	//	●
第10号議案	令和7年度福井市駐車場特別会計予算	//	//	●
第11号議案	令和7年度福井市水道事業会計予算	//	//	●

(3月定例会)

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第12号議案	令和7年度福井市簡易水道事業会計予算	3月19日 原案可決	
第13号議案	令和7年度福井市下水道事業会計予算	// //	●
第14号議案	令和7年度福井市集落排水事業会計予算	// //	
第15号議案	福井市子ども未来条例の制定について	// //	●
第16号議案	福井市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	// //	
第17号議案	福井市犯罪被害者等支援条例の制定について	// //	
第18号議案	福井市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について	// //	
第19号議案	福井市水道の布設工事の監督及び水道技術管理者に関する条例の全部改正について	// //	
第20号議案	福井市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	// //	
第21号議案	職員の退職手当に関する条例の一部改正について	// //	
第22号議案	福井市職員等旅費支給条例の一部改正について	// //	
第23号議案	福井市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例等の一部改正について	// //	
第24号議案	福井市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について	// //	●
第25号議案	福井市軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	// //	
第26号議案	福井市児童館条例の一部改正について	// //	
第27号議案	福井市一乗滝小次郎の里ファミリーパークの設置及び管理に関する条例の一部改正について	// //	
第28号議案	福井市手数料徴収条例の一部改正について	// //	
第29号議案	福井市公民館設置に関する条例の一部改正について	// //	
第30号議案	包括外部監査契約の締結について	// //	●
第31号議案	福井県市町総合事務組合規約の変更について	// //	
第32号議案	福井市非常勤の特別職職員の報酬等に関する条例の一部改正について	// //	
第33号議案	福井市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の一部改正について	// //	
第99号議案	令和6年度福井市一般会計補正予算	// //	●
第100号議案	令和6年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	// //	
第101号議案	令和6年度福井市中央卸売市場特別会計補正予算	// //	
第102号議案	福井市職員の給与に関する条例及び福井市職員の給与に関する条例及び福井市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	// //	●
第103号議案	福井市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	// //	
第104号議案	福井市退職料条例等の廃止について	// //	
第105号議案	工事請負契約の変更について (南消防署新築工事)	// //	
第106号議案	工事請負契約の変更について (新) 福井市九頭屯中学校新築電気設備工事	// //	
第107号議案	市道の路線の認定について	// //	
第108号議案	令和6年度福井市一般会計補正予算	// //	●
第33号報告	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度福井市競輪特別会計補正予算)	// 承認	
第34号報告	専決処分の報告について (和解及び損害賠償額の決定について)	2月17日 受理	
第35号報告	専決処分の報告について (工事請負契約の変更について)	// //	
第36号報告	専決処分の報告について (工事請負契約の変更について)	// //	
市会案第7号	市長の専決処分事項の指定の追加について	3月19日 原案可決	●
市会案第8号	福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	// //	
市会案第9号	福井市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	// //	
請願第6号	訪問介護報酬引き下げの撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書の提出を求める請願	// 不採択	●
請願第7号	従来の紙の健康保険証の発行存続を求める意見書の提出を求める請願	// //	●
請願第8号	選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書の提出を求める請願	// //	●
請願第9号	ノーベル平和賞を受賞した被爆者の願いである日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書の提出を求める請願	// //	●
陳情第8号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出を求める陳情書	// //	●

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対 欠…欠席 退…退席

※原則、議長(池上優徳)は採決に加わりません。

会派名 議員名 議案番号	審議 結果	一真会										新政会				市民クラブ			公明党		日本共産党	ふくい未来の会	無所属									
		見谷喜代三	皆川信正	青木幹雄	今村辰和	堀江廣海	八田一以	池上優徳	寺島恭也	榊原光賀	葛野早智代	浦上逸人	漆崎與	佐野弘	野嶋祐記	奥島光晴	伊藤洋一	藤田諭	田中義乃	堀川秀樹	村田耕一	玉村正人	酒井良樹	高田稔浩	下畑健二	菅生敬一	津田かおり	鈴木正樹	山田文葉	岩佐武彦	宮岡勝也	近藤實
<b>3月定例会</b>																																
第1号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	反
第2~4号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第6~8号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第10,11号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第13号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	反
第15号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	反
第24号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第30号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	退	退	賛	賛	反
第99号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第102号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	反
第108号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	反
市会案第7号	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
請願第6~9号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
陳情第8号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛

### 議長の動静(令和7年1月~3月)

1月28日	全国競輪主催地議会議長会 役員会(神奈川県)
30日	福井県市議会議長会 定期総会(大野市)
2月5日	全国市議会議長会 部会長会議 (東京都) 全国市議会議員互助会 役員会等(東京都) 北信越市議会議長会 理事会 (東京都)
6日	全国市議会議長会 共済会 理事会、代議員会(東京都)
12日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議会運営等懇話会(あわら市)
13日	市町総合事務組合議会 定例会 福井県自治会館組合議会 定例会
14日	後期高齢者医療広域連合組合議会 定例会 福井県市町振興協会 理事会
3月26日	要望活動(東京都)

### 3月定例会

2月17日	本会議
18日	議会運営委員会
25日	議員全員協議会 本会議 (一般質問)
26、27日	本会議 (一般質問)
28日	総務委員会 建設委員会
3月4日	教育民生委員会 経済企業委員会
13、14日	予算特別委員会
17日	議会運営委員会
19日	議員全員協議会 本会議

### 定例会外の議会日程(令和7年1月~3月)

1月17日	議会運営委員会
2月3日	県都にぎわい創出対策特別委員会
7日	議員全員協議会、議会運営委員会

### 発行日の変更について

発行日が下記のとおり変更になりました。

**【変更前】** 2・5・8・11月 10日

**【変更後】** 2・5・8・11月 25日

## 傍聴してみませんか

本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。各会議の傍聴を希望される方は、下記を参考にお越しください。

傍聴できる会議	受付場所	受付時間	定員
本会議	市役所本館8階 議場入り口	開会30分前 から (先着順)	97名 (うち車椅子6名)
常任委員会 (総務、建設、教育民生、経済企業)	市役所本館8階 各委員会室前		若干名
議会運営委員会			
県都にぎわい創出 対策特別委員会			
議員全員協議会 予算特別委員会	市役所本館8階 全員協議会室前		

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。  
※詳細については、下記のホームページを御確認いただくか、電話でお問い合わせください。

### 請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されます。基本的にいつでも提出できますが、提出時期等詳細については、ホームページを御確認の上、電話でお問い合わせください。

### お問い合わせ

議会事務局 議事調査課  
TEL.0776-20-5510

## 編集後記

あっという間に1年が過ぎ、また新しい季節になりました。

近年、物価高は止まらず、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。市民の方々にお会いした際にも、そのようなお話をよくお聞きします。私たちはそういった課題には政治が大きく関わっていると確信しています。まずは身近な市政から興味を持っていただけませんか？

千里の道も一歩から！私たち議員一同、関心を持っていただくよう努めていきます！

(編集委員 宮岡、佐野)

## 》》》次回は》》》 6月定例会です

- 定例会の日程はホームページに掲載します。
- 本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送します。
- 本会議、常任委員会等の模様は、インターネットで録画配信します。

市議会  
ホームページ



### 本紙に関するお問い合わせ

議会事務局 庶務課  
TEL.0776-20-5506  
FAX.0776-20-5744

WEBでの  
お問い合わせ  
フォーム

